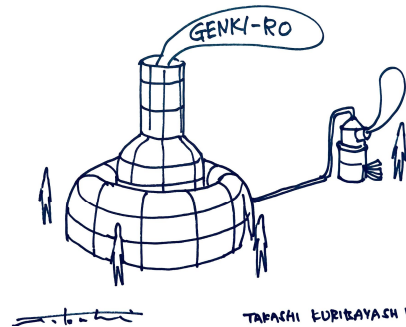


青森県初のアートフェス！閉幕まであと1ヶ月

AOMORI GOKAN アートフェス 2024 「つらなりのはらっぱ」

共通企画 栗林隆 《元気炉》「Aomori GENKI-RO Trip」

アートフェス 関連企画（弘前れんが倉庫美術館）のご案内



左) 栗林隆 《元気炉》2022年 《蚊帳の外》ドキュメンタ15、ドイツ・カッセル）より Photo Rai Shizuno

右) 栗林隆 《元気炉》ドローイング

現代美術を楽しめる青森県内5つの美術館・アートセンターで4月13日（土）より開催中のAOMORI GOKAN アートフェス 2024「つらなりのはらっぱ」は、閉幕まで1ヶ月となりました。9月1日（日）のフィナーレを前に、5館共通の企画、栗林隆《元気炉》が8月9日（金）より青森県立美術館を皮切りに5館を巡回します。

栗林は空間の内と外、自然と人間、人間同士の間にある境界など、あらゆる時代や場所に存在する「境界」に目を向け、その意味を問い直すような作品を制作してきました。《元気炉》は原子炉の形状をした構造物に薬草の香りを帯びた蒸気を発生させ、観客が中に入る体験型の作品です。作品を稼働する美術館でも各地域に自生する薬草をブレンドして使用。栗林が海外で発表した《元気炉》の映像作品も展示予定です。

また本アートフェスでは、「Aomori GENKI-RO Trip」と題して、青森の各地域に伝わる郷土音楽からジャズ、クラシックなど、地元で活動する奏者たちと音楽家の辰田翔がライブ演奏を行います。さらに写真家で映像作家の志津野雷も同行しその様子を記録します。《元気炉》は2024年のテーマである「つらなりのはらっぱ」を体現するように、青森5館を旅し、各地域に継承される伝統文化や人々との交流をかさねながら、本アートフェスのフィナーレを飾ります。

ー音楽イベントの参加者・団体などの詳細情報は8/9以降に配布する資料でご案内しますー

▼栗林 隆《元気炉》 「Aomori GENKI-RO Trip」巡回情報 *参加無料(飲食費別)

「Aomori GENKI-RO Trip」は栗林隆《元気炉》や映像作品の展示とともに、
音楽家・辰田翔と地元を拠点に活動する奏者たちとのライブ演奏、さらに
エリアごとにドリンクやフードの出店もあり、アーティストと参加者が共に楽しめる企画です

1) 青森県立美術館

- 展示期間 8/9 (金) - 8/11 (日) *8/10 はナイトミュージアム開催、夜間開館
- 場所 創作ヤード(屋外トレンチ)
- 作品稼働日 8/9 (金) 18:00-21:00、8/10 (土) 18:00-20:00
- イベント
 - ・8/9 は青森県庁ねぶた実行委員会囃子方とのコラボレーションによる音楽イベントを実施します。
 - ・8/9、10 は「青い森珈琲焙煎所」によるキッチンカーが出店します。

2) 青森公立大学 国際芸術センター青森

- 展示期間 8/14 (水)・8/15 (木)
- 場所 展示棟 水のテラス付近
- 作品稼働日 8/14 (水)・8/15 (木) 両日 18:00-20:00
- イベント 8/14、15 とともに民謡と三味線による音楽イベントを実施予定です。
8/14 は焼き鳥屋台と飲み物の出店を予定しています。

3) 八戸市美術館

- 展示のみ 8/18 (日) 10:00-21:00
8/19 (月)、21 (水) 両日 10:00-19:00
- 場所 美術館内「スタジオ」
- イベント 5 館で唯一、本作を屋内で展示する八戸市美術館。音楽や、各館展示の様子をまとめた映像と共に作品を鑑賞いただきます。また 8/18 は作品の中に特設されたバーや、美術館広場でフードを販売します。

4) 十和田市現代美術館

- 展示企画 8/24 (土)・8/25 (日)
- 場所 美術館 前庭
- 作品稼働日 8/24 (土) 17:00-19:00
- イベント 8/24 の 17:00-は、十和田市内で活躍している音楽バンドによる演奏を行います。併せて美術館併設のカフェ cube では営業時間を延長し、ソフトドリンクやアルコール、栗林氏の関連グッズを販売。《元気炉》周辺には、手押し車に木造の屋台テーブルを乗せた作品《YATAI》を展示し、《YATAI》を囲みながらドリンクを提供します。

5) 弘前れんが倉庫美術館

- 展示 8/28 (水) - 9/1 (日)
- 場所 土淵川吉野町緑地(弘前れんが倉庫美術館前)
- 作品稼働日 8/30 (金) - 9/1 (日) 全日 17:00-20:00 *8/30、31 は夜間開館
- イベント 8/30、9/1 は、弘前ゆかりの音楽家や、自ら制作した土器の太鼓「縄文太鼓」をジャポニズムとアフリカンを融合した独自の演奏スタイルで独奏する太鼓演奏家・茂呂剛伸が登場します。8/30 から 9/1 まで、L PACK.によるイベント《いっしょくたにへば たげめぐなるはんで》を開催。オリジナルの屋台で、コーヒーやクラフトビールが楽しめます。

▼アートフェス 関連企画

●弘前れんが倉庫美術館 L PACK. 《いっしょくたにへば たげめぐなるはんで When you put them all together, it's a complete disaster.》

8月30日（金）-9月1日（日）全日 17:00-20:00 *参加無料（飲食費別）

【会場】 土淵川吉野町緑地（弘前れんが倉庫美術館前）



L PACK. Photo: Koichi Tanoue

アート、デザイン、建築、民藝などの思考や技術を横断しながら、最小限の道具と現地の素材を臨機応変に組み合わせた「コーヒーのある風景」をきっかけに、まちの要素の一部となることを目指すL PACK.（小田桐奨と中嶋哲矢によるユニット）。フェスの最後を締めくくる3日間、栗林隆の《元気炉》の展示とともに、宵宮や屋台など地域の身近な文化から着想された体験型の作品を発表します。

クラフトビールを製造する「Be Easy Brewing」（弘前市）、津軽地域で長年親しまれている駄菓子「大王当て」を製造する「佐藤製菓」（弘前市）、全国の自然栽培の野菜を販売しフードロスにも取り組む「青果ミコト屋」（神奈川県横浜市）とコラボレーションした屋台が出店予定です。

●弘前れんが倉庫美術館 「Shuta Hasunuma “unpeople 360° + 1 person #13”」

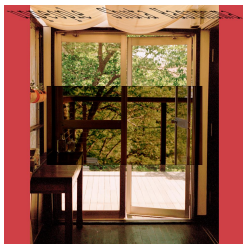
8月31日（土）19:00- *事前予約制

【会場】 cafe & shop BRICK（弘前れんが倉庫美術館併設）

【料金】 4,400円 ※当日、別途ワンドリンクの注文が必要

※高校生以下無料（要証明書提示／高校生以下は予約不要）

【主催】 windandwindows



蓮沼執太の最新アルバム『unpeople』を複数のスピーカーを使って立体音響化したサウンド・パフォーマンス「Shuta Hasunuma “unpeople 360° + 1 person #13”」を開催します。